

第1回 生命文化誌セミナー

Artist lecture

福原 志保

×
ゲオルク・トレメル

Science communication?

www.biopresence.com

BIOPRESENCE

2008年1月14日（月・祝）15時～18時ころ

早稲田大学 大久保（理工）キャンパス

55号館N棟 第1会議室

今年から、生命観や生命科学の文化的・歴史的側面に関する研究者やアーティストを招き、（広い意味での）「アートにおける生命表現」や「生命科学の文化史」などに関する研究を紹介する生命文化誌セミナーが始まります。

その1回目は、人のDNAの配列を特殊なアルゴリズムで変換して植物ゲノムにコード化させ、「生きる墓標」を体現するという「バイオプレゼンス」プロジェクトなど、特異な観点から多彩な活動を繰り広げておられる気鋭のアーティスト、福原志保さんとゲオルク・トレメルさんをお招きします。お二人は、科学技術や生命科学の社会・倫理との関わりに興味を持ち、国際的に注目を集めておられます。「生命科学の世紀の生命観」や「アートとしてのサイエンスコミュニケーション」などについて、突っ込んだお話をうかがえると思います。

また、生命文化誌セミナーでは、アーティストによる講演と、研究者による講演をタイアップさせる形式をとっています。今回は、おふたりのレクチャーに先立ち、最近立ち上がった構成生物学・細胞創出に関わる学術研究会（「細胞を創る」研究会）のスコープや社会・文化に関わる側面についても、世話人の岩崎から簡単に説明させていただきます。

参加をご希望の方は、できるだけ事前に下記までメールにてご連絡ください。

世話人：岩崎秀雄（早稲田大学 理工学術院，科学技術振興機構さきがけ）

hideo-iwasaki @ waseda.jp

<http://www.f.waseda.jp/hideo-iwasaki/bioculture.html>

なお、当日は祝日で、キャンパスは施錠されており、正門からしか出入りできません。恐れ入りますが、守衛さんに「生命文化誌研究会に参加する」ことを伝えた上で構内にお入りください。